
海事振興連盟ニュース

No223

海事産業と国会をむすぶパイプ役

海事振興連盟

住所 千代田区平河町 2-6-4 海運ビル

TEL 03 (3265) 1926

<http://www.kaiji-shinko.jp/>

発行人 石川 尚

令和4年2月1日

令和4年1月21日 「海の日」に関する臨時会合開催 「海の日7月20日固定化」に関する決議を採択



左から盛山正仁常任理事、衛藤征士郎会長、塩谷立副会長・事務総長、今村雅弘常任理事、山本順三副会長

当連盟は、令和4年1月21日（金）午前8:30より衆議院第一議員会館会議室において衆・参国会議員46名の他、同代理、関係団体、メディア等計156名の出席を得て「海の日」に関する臨時会合を開催した。

会合は塩谷立副会長・事務総長により進められ、冒頭、衛藤征士郎会長より挨拶があり、続いて関係団体を代表して日本船主協会（森重俊也理事長）、日本造船工業会（名村建介副会長）、全日本海員組合（松浦満晴組合長）より海の日の固定化を求める発言があった。引き続き、衛藤会長より今後の進め方について決議案（添付-1）に基づき提案があり、あわせて7月20日の海の日（海の記念日）の由来に関連の深い明治丸について今村雅弘常任理事から説明があり、活発な意見交換（注）の後、国民の祝日「海の日」の7月20日への固定化に向けて、①議員立法で祝日法を改正すること、②全国の地方自治体に固定化を求める意見書の提出を依頼する（添付-2）こと、に取り組んでいくことを満場異議なく決議した。

（注）会合における発言者（発言順）（発言概要は「うみ」次号に掲載します。）

赤池誠章参院議員、柿沢未途衆院議員、城井崇衆院議員、有村治子参院議員
鈴木宗男参院議員、白眞勲参院議員、城内実衆院議員、宮澤博行衆院議員

《事務局より》

会合において衛藤会長からも発言がありました通り、海の日固定化を進めるにあたっては、所属国会議員の皆様、関係団体各位の強力なバックアップが不可欠ですので、何卒よろしくお願いいたします。

新規ご入会

〔一 号 会 員〕（会員数 354 名）

長谷川 淳二衆議院議員（自民党） R4.1.17 付

呉タウンミーティング延期

3月4日～5日に広島県呉市で開催を予定しておりましたタウンミーティングは延期することといたしました。

次回日程は未定ですが、開催地は呉市の予定です。日程が決まりましたら改めてご案内いたします。

会員募集

「海事振興連盟」は、**海事産業の応援団**としてその発展に取り組んでいます。

会員をご紹介下さい。

- | | |
|--------------------|-------------------------------|
| ① 一号会員（国会議員） | 会費：月額 300 円 |
| ② 二号会員（海事関係企業及び法人） | 会費：年間 60,000 円より（個別ご相談） |
| ③ 賛助会員（法人） | 会費：1 口年間 20,000 円より |
| ④ 個人応援会員 | 会費：1 口年間 5,000 円より |
| | （4 口年間 20,000 円以上の方は特別個人応援会員） |
| ⑤ 「うみ」購読会員 | 年会費 3,000 円 |

以上

国民の祝日「海の日」の7月20日固定化に関する海事振興連盟決議

国民の祝日「海の日」は、「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う」、ことを趣旨として、全国1,038万人の署名・約2,300に及ぶ地方議会の決議を経て平成7（1995）年に制定され平成8（1996）年から施行されているが、平成15（2003）年以降、いわゆるハッピーマンデー制度により、「海の日」は7月20日から「7月の第3月曜日」に移行した。

7月20日は「海の記念日」として1941（昭和16）年に制定され、海の日のもととなった日である。第1回海の日である平成8（1996）年7月20日は、世界の海洋秩序を定めた「国連海洋法条約」がわが国において発効した日であり、平成19（2007）年7月20日は「海洋基本法」が施行され、わが国が新たな海洋立国を目指すことを宣言した日でもある。このように、当初「海の日」とされた7月20日は海洋国家日本の礎となる記念すべき日であり、「海洋国家日本を宣言した日」とも言える日である。

国民の一人一人が海をめぐる様々な状況に思いを馳せ、「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う」という「海の日」の趣旨に思いをいたす機運を盛り上げる日とするため、以下の活動を通じ、国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化に向けて関係者一丸となって取り組むことを決議する。

- （1）議員立法により国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化するための祝日法の改正を図る。
- （2）上記（1）を推進するため、全国の地方自治体（都道府県・市町村）に国民の祝日「海の日」の7月20日への固定化を求める意見書を提出願う依頼状を出状する。

令和4年1月21日

海事振興連盟

令和〇年〇月吉日

都道府県議会宛
市町村議会宛
都道府県知事宛(写)

海事振興連盟

国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書を提出いただきました件

謹啓 貴議会におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。私ども海事振興連盟は、超党派の国会議員360余名と海事関係団体等で構成される組織で、わが国の海事産業の発展に貢献すべく日々活動しております。

さて、国民の祝日「海の日」は、「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う」、ことを趣旨として、全国1,038万人の署名・約2,300に及ぶ地方議会の決議を経て平成7(1995)年に制定され平成8(1996)年から施行されております。

ご案内の通り「海の日」は、昭和16(1941)年に制定された「海の記念日」を基に制定されました。「海の記念日」は、明治9(1876)年に明治天皇が東北地方に巡幸した際、灯台視察船「明治丸」で航海し、同年7月20日に横浜港に無事入港されたことを記念して制定されたものです。

また、第1回海の日である平成8(1996)年7月20日は、世界の海洋秩序を定めわが国の排他的経済水域(EEZ)200海里の根拠となる「国連海洋法条約」がわが国において発効した日であり、平成19(2007)年7月20日は「海洋基本法」が施行され、わが国が新たな海洋立国を目指すことを宣言した日でもあります。

このように、当初「海の日」とされた7月20日は海洋国家日本の礎となる記念すべき日であり、「海洋国家日本を宣言した日」であります。

しかるに平成15(2003)年以降、いわゆるハッピーマンデー制度により、「海の日」は「7月の第3月曜日」になり、毎年その日にちが変動する祝日となってしまいました。

わが国は国連加盟193カ国のなかでいち早く「海の日」を国民の祝日とした唯一の国です。「海の日」の制定趣旨を顧みれば、海を通じて人的・文化的交流を図り、経済活動を行ってきたわが国にとって7月20日を「海の日」として国民の認識を得ることは海洋国家として当然のことと考えます。われわれ海事振興連盟は、海の日を7月20日に戻し、わが国を改めて名実ともに海洋国家といえる存在とするべく、来る通常国会に議員提案としてその成立を期することといたしました。

かつて7月20日から31日までを「海の旬間」とし、各地方自治体において様々な行

事が活発に開催されておりましたが、ハッピーマンデー化以降は「海の旬間」が設定できなくなり、地方自治体による行事も活発に開催されているとは言い難い状況となりました。「海の日」のイベント開催は年に一度わが国の平和と安全また海の資源を守り、海に働く人々に国民の目を向けてもらう日でありました。「海の日」が7月20日に固定化されれば、地方自治体が行う年間行事における海の日関連行事の位置づけが明確となり、各種行事が活発に開催され、国民の目が海辺の町、海に係わる産業やそこで働く人たちに向けられ、後継者になろうとする人たちの増加につながるものと期待されます。ハッピーマンデーは観光振興等に相応の効果をもたらしたと考えますが、「海の日」に関しては、全国の多くの公立学校が夏休みの開始日を7月21日としていることを考えますと、7月20日に固定化した方が夏休みと絡めて連休の効果が大きいと考えます。

また、2008年の国連総会において、「海を讃え、海洋の恵みを賛美し、またその本来の価値に感謝するため」、2009年以降6月8日を「世界海の日」とすることが決定され、毎年6月8日に国連や関係国で記念行事が開催されております。

政府が標榜する「自由で開かれたインド太平洋」を例にあげるまでもなく、政治・経済さらには地球環境問題において、今ほど「海」がクローズアップされている時代はありません。これら課題について、わが国が率先して積極的に問題提起を行う場合、海の日が毎年変わるようでは、諸外国から見て軸の定まらない国として映るに違いありません。

四面を海に囲まれたわが国は海なしでは成り立ちません。海から大きな恩恵を受けると同時に、様々な影響も受けます。海に生かされている、と同時に海と共に生きる、すなわち海と共生している国民であるとも言えます。

「海の日」を7月20日に固定化することにより、国民の一人一人が海をめぐる様々な状況に思いを馳せ、「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う」という「海の日」の趣旨に思いをいたす機運を盛り上げることが極めて重要であると思っております。

つきましては、貴議会におかれまして、地域振興の見地からも、国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書を採択いただき、内閣総理大臣宛に提出いただきたく本状をもってお願いする次第です。何卒ご高配賜りますようよろしくお願い申し上げます。

謹白

参考

地方議会用(一例)

国民の祝日「海の日」の7月20日への固定化を求める意見書

国民の祝日「海の日」は、「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国家日本の繁栄を願う」ことを趣旨として平成7年に制定され、平成8年7月20日から施行されておりますが、成15年以降いわゆるハッピーマンデー化により7月の第3月曜日となっております。

わが国と海との歴史的、文化的および経済・社会的な関わりならびに海の日制定の歴史的経緯等を踏まえ、国民が海の大切さを理解し、その恩恵に感謝し、海の安全および環境保全について思いを馳せる機会とするためにも、「海の日」を当初の7月20日に固定化することを要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和〇年〇月〇日

〇〇〇議会

(海事振興連盟事務局注)

内閣総理大臣宛に提出いただいた意見書の写を当連盟事務局にご送付いただけましたら幸いです。

参考: 地方自治法 第九十九条 普通地方公共団体の議会は、当該普通地方公共団体の公益に関する事件につき意見書を国会又は関係行政庁に提出することができる。